

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ロータブレーター施行における健常部ワイヤーバイアスの程度による冠動脈穿孔リスクの検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 循環器科 川口由高

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2020年12月31日

目的：虚血性心疾患に対するインターベンションにおいて高度石灰化病変の場合はロータブレーターを使用して石灰化を削る手技を追加しますが、冠動脈穿孔のリスクが高まります。血管内超音波によるカテーテルの走行部位と冠動脈穿孔のリスクとの関連を後ろ向きに評価します。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2014年4月1日 ～ 2020年3月31日に当院で、冠動脈インターベンションを行った際に、ロータブレーター治療を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断名、年齢・性別、入院日、既往歴、服薬内容、採血結果、カテーテル治療内容、血管内超音波検査内容、合併症の有無、カテーテル術後の予後調査等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

循環器科 川口由高

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971